

## 市民協働推進計画案に関するパブリックコメントについて

### 1 パブリックコメントの概要

#### (1) 期間

- 平成18年8月8日(火)～平成18年8月25日(金) 18日間

#### (2) 応募者数等

- 応募者数：4名，12件(内訳：男性 3名，女性 1名)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
0	1	0	1	1	1	0	4

#### (3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
0	2	2	0	4

### 2 意見の概要と市の考え方

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>計画全体について</p> <p>計画の推進をとおして，計画期間後の本市の状況がどのように変わっているのかなど，イメージできるような図などがあれば良いと思う。</p>	<p>市民協働のまち『うつのみや』の実現に向けたまちづくりのイメージを計画の表紙に表しました。</p> <p>また，市民協働の啓発を進めていく中で，イメージがしやすいよう，図などを活用してまいります。</p>
2	<p>計画全体について</p> <p>各章の記述の関連性が弱いと主張が曖昧に感じる。望ましい姿(基本理念)の実現のために何をするのか(基本方針・基本目標の設定)，現状にはどのような課題があり，それらを解決するために具体的にどのような取組みを行うのかなど体系立てて明確になるよう構成を工夫すべきである。</p>	<p>本文14ページの「基本施策の体系」において，市民協働推進指針の基本方針に基づき，5つの基本方針と基本目標，基本施策，23の具体的な取組みについて体系化し，その関連について示しておりますが，より分かりやすいよう，体系図の一部を修正いたします。</p>
3	<p>計画全体について</p> <p>本文2ページの計画策定の背景と必要性において，「最も身近な行政主体である自治体が，市民生活や地域の実情に応じた行政運営を行うことが求められる」との記述があるが，当然のことであり，時代の変化に対応するのであれば，「よりきめ細かに」などの表現が必要だと思う。</p>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえ，表現を修正いたします。</p>

	意見の内容	意見に対する市の考え方
4	市民協働の普及啓発について 市民がまちづくり活動に参加，参画しやすいよう，この計画をわかりやすく，やさしく伝えることが重要なポイントであると思う。	市民の皆さんがひと目見てわかるようリーフレットの配布や出前講座などにおいて，市民協働の普及啓発などに努めてまいります。
5	計画の策定過程について どのような方法で市民の意見を計画に反映させたのかを明確にするため，策定過程についてもまとめて記述したかどうか。	本計画は，市民により構成される懇談会のほか，NPOや地域団体との意見交換会や市民協働のシンポジウムなどを開催し，多くの市民の意見を伺いながら計画をとりまとめてまいりました。その策定過程やいただいたご意見の概要につきましては，本計画の資料編の中に盛り込んでまいります。
6	計画の推進にあたって この計画は，市民，地域団体，NPO，事業者(企業等)，市等が共有する計画であり，全主体で取組んでいく内容であると思う。そのため，市民により構成される「みんなでまちづくり会議」に「行政サイドの評価」の他に，「市民サイドの仕組みや取組みの検討」を機能として加えるのはどうか。	各主体の取組みの検討などにつきましては，「みんなでまちづくり会議」で取組めるよう検討いたします。 また，必要に応じて各主体に対し，アンケート調査やヒアリングなどを行い，取組みにおける進捗状況などについても検証してまいります。
7	市民協働のまちづくりの考え方 本文10ページの基本理念でいう「市民」とは，行政や事業所も含む概念だと思うが，この計画における「市民」の定義と混同しないか。	本文10ページにおける「市民」とは，「市民協働推進指針」において「宇都宮市に住んでいる人や通勤・通学している人，地域団体，NPO，企業など，宇都宮市のまちづくりに関わるすべての人や団体」と定義しているため，本計画における「市民」（まちづくりに関心を持ち，社会的・公共的課題を自ら考え行動できる個人）と定義が異なることから，3ページにおいて説明いたします。
8	具体的な取組みについて インターネット活用による情報提供において，既存のネットワーク業者が提供している「ブログ」(ウェブ上の日記サイト)などを利用することも考えてはどうか。	インターネットを活用し，まちづくりの考え方や協働事業などの情報を提供していく中で，ブログなどの利用についても検討してまいります。

	意見の内容	意見に対する市の考え方
9	具体的な取組みについて 多様な媒体の情報提供の手段として、出前講座の活用も重要であると思う。	それぞれの取組みは、大変関連性が深く、連携して取組むことが効果的であることから、出前講座も有効な情報提供の場として、その活用を図ってまいります。
10	具体的な取組みについて 市民活動サポートセンターを拡充すると同時に、既存の建物などを活用して情報の集約拠点を設置して欲しい。	サポートセンターの拡充については、活動拠点の充実の取組みにおいて検討するとともに、NPO・ボランティア情報なども、まちづくり活動拠点において提供できるようコーディネート機能の充実において取り組んでまいります。
11	具体的な取組みについて 市民の中には、まちづくりに対して、自分の意見を述べ、参画したいと思っている人もいることから、出前講座において提案書の作り方などを教える講座を開設し、市民のまちづくりに参加する気運につなげてはどうか。	出前講座の充実を図っていく中で、市民参加につながるような双方向型の事業展開など、講座の内容や進め方についても検討してまいります。
12	具体的な取組みについて 活動拠点の充実において、小学校などの地域開放室の利用方法や貸出手続きの拡大充実を早期に推進してもらいたい。	地域ニーズへの対応や学校施設の有効活用を図るため、各学校の実情に応じ、教育活動に支障のない範囲で地域開放室を増やせるよう検討していく中で、あわせて利用方法などについても検討してまいります。